



<アセアン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年12月11日

アジア開発銀行のアジア経済見通し改訂

ベトナムは上方修正

アジア開発銀行（ADB）がアジア太平洋地域（日本等の一部先進国を除く）の経済成長率見通しを9月発表の-0.7%から-0.4%へ上方修正した。各国別ではコロナウイルス感染の抑え込みに成功している中国（1.8%→2.1%）やベトナム（1.8%→2.3%）が上方修正になる一方、コロナウイルス感染拡大が続くインドネシア、マレーシア、フィリピンは1%程度の方修正となった。今回の修正でベトナムの成長率は中国のそれを上回り、東アジアでは最高水準。

また、景気の停滞と石油価格の低迷によりアジア新興国（Developing Asia）のインフレ率は2.8%（2020年）、1.9%（2021年）に止まる予測。ベトナムについては秋の台風の影響による食料価格の高騰もあり2020年は9月の3.3%から3.5%へと引き上げられた。

アジア開発銀行の経済成長予測（2020年12月現在）

h	19年	20年		21年	
		前回（9月）	12月改定値	前回（9月）	12月改定値
中国	6.1%	1.8%	2.1%	7.7%	7.7%
インド	4.2%	-9.0%	-8.0%	8.0%	8.0%
インドネシア	5.0%	-1.0%	-2.2%	5.3%	4.5%
マレーシア	4.3%	-5.0%	-6.0%	6.5%	7.0%
フィリピン	6.0%	-7.3%	-8.5%	6.5%	6.5%
シンガポール	0.7%	-6.2%	-6.2%	4.5%	5.1%
タイ	2.4%	-8.0%	-7.8%	4.5%	4.0%
ベトナム	7.0%	1.8%	2.3%	6.3%	6.1%

出所：ADB

<http://www.capital-am.co.jp>

以上